

囲いやま森の会 活動記録

2009.1.11 野口 功

日 時： 2009.1.11(日) 9時30分～12時 天気： 晴れ

気温 2.9°C(9:30)、6.2°C(11:40) 照度 1600LUX(9:30) 1980LUX(11:40)
(いざれも倉庫前広場のテーブル上)

活動参加者 新井、池田、高鳥、野口、三嶋、山口、山田 7名
会員外 深野、高木、須藤 3名

定例日は三が日だったので、一週間遅らせました。数日来の強風はおさまったものの、冷たい北風が吹いていましたが、草地のイベント広場は暖かい日差しがふりそそぎ、一面に草が芽生えています。今日は年初めなので、特別な作業はせず、森の中を見て回りました。

活動内容

- ① 森の観察：植物が茂っている時機にはなかなか入れない南東部のアズマネザサの藪の中まで見て回りました。熊野神社側の一段高い所から、東の竹林へは、かなり急な斜面で落ち込んでいます。竹林は、隣接するお宅に管理を委ねているとのことで、きれいに整備されています。竹林に隣接して、アズマネザサが密生するエノキ・コナラ群落があり、その中には人力で作られたと思われる窪地がいくつもあります。竹林に近い区域には、一部に竹が入り込み、枯れた竹が折り重なっています。
この辺りは、ウグイスなどの生息区域として手をつけていませんが、竹は少し整理したほうが良いかなと感じました。
- ② 通路に囲まれた区域は、スギやシラカシの除伐がすすみ、大分明るくなっていますが、冬の間に、溝腐病のスギやシラカシの幼木は除伐を進めようと思います。
- ③ シイタケは、成長したものが3本。小さな芽生えがたくさんありました。
これからが楽しみです。
- ④ チェーンソーの整備をしました。
- ⑤ 北側道路沿いのごみを収集しました。

連絡・報告事項

- ① 次回の活動：
1月20日(火) スギの伐倒、西側通路沿いにアオキを移植など
- ② ミーティングと新年会 今年の活動計画などを話し合いながら、懇親しましょう。
1月22日(木) 16時ミーティング、17時新年会
場所 三協会館2階(常盤平駅南) Tel387-7101
費用 3,000円+飲み物代 申し込み：野口宛 Tel345-6086 080-1098-5962
- ③ 八幡腰の森(作業活動)： 1月21日(水) 10時～
八幡腰の森は、里やま応援団グループ全体で支えています。ご都合のつく方はご参加を！
- ④ 緑のネットワーク・まつどの定例観察会 2月8日(日) 千駄堀の森とクリーン活動。
午前9時半、八柱駅北口集合
- ⑤ 1月28日～2月2日、松戸駅東口プラーレ6階で、千葉県のNPO活動紹介写真展があります。囲いやま森の会も出展しています。
- ⑥ 暮れに森の中にあった毛布やダンボールは、倉庫の前にまとめて置いておきましたが、数日のうちになくなっていました。持ち帰ったものと思われます。

団いやま森の会 活動記録

2009.1.20 野口 功

日 時： 2009.1.20(火) 9時30分～12時 天気： 曇り

気温 4.9°C(9:45)、7.8°C(11:45) 照度 5800LUX(9:45) 3650LUX(11:45)
(いざれも倉庫前広場のテーブル上)

活動参加者 新井、高鳥、西澤、野口、山口 5名
会員外 須藤 1名

曇りの薄ら寒い日でした。北側道路際に投げ捨てられたゴミや倉庫の裏に集めておいゴミが、一面に散乱カラスの仕業でしょうか？ シイタケは、寒いせいかあまり大きくなっています。

活動内容

- ① カラスが散らかしたゴミの片付け。
- ② 東側通路近くのイヌシデの枯木の伐倒（樹高 15.2m、直径 30 cm、樹齢 30 年余）
- ③ シラカシの除伐。樹高約 10m、2 本、④ 林内に放置されていた伐採木の片付け

特別報告 人身事故寸前の事態が発生

- 1 おきた事 イヌシデ枯木の伐倒の際、倒れた木の先端が、ロープを引いていた一人の直近に達した。幸い、体には当たらず、事故は免れた。
- 2 状況 伐採木にロープを縛り、約 15m 離れた木を経由して直角方向にロープを回し、そこから 7～8 m の所で 2 人がロープを牽引。木は、ロープの方向からはずれて、ロープを引いている人の方向に倒れた。その先端は、引いているロープぎりぎりの所まで達した。
- 3 原因
 - ① ロープを引く人の位置が、伐倒木から十分離れていたなかった。
 - ② 受口が伐倒方向（ロープの方向）からはずれていた。それに気づいた人はいたが、ロープで引いているから大丈夫だろうと思って、伐倒者に知らせなかった。

4 教訓

- ① ロープをかける木は、樹高の 1.5 倍程度はなれた木を選ぶこと
- ② ロープを引く位置は、ロープをかけた木よりもっと離れること。できれば、伐倒する木とロープを引く人との間に遮蔽となる木があるような位置を選定する。
- ③ 受け口が正確に伐倒方向（ロープの方向）に向いていることを確認すること
- ④ 問題に気づいたら、かならず作業を留めさせて、注意を喚起すること。勝手に安易な判断をしない。

連絡・報告事項

- ① 次回の活動： 2月 7 日（土） 引き続き、スギの伐倒、西側通路沿いにアオキを移植など
- ② 八幡腰の森（作業活動）： 2月 2 日（月） 10 時～。夕方、懇親会（場所未定）
八幡腰の森は、里やま応援団グループ全体で支えています。ご都合のつく方はご参加を！
- ③ 里やま応援団グループ意見交換会 2月 2 日（月） 15 時 テント小屋
- ④ 東葛飾農林振興センター タウンミーティング「地域の森林の明日について語りませんか」
1月 27 日（火） 13:30～16:00 場所・東葛飾農林振興センター
- ⑤ 北総里山フェスタ
1月 25 日（日） 東京電機大学千葉ニュータウンキャンパス（千葉ニュータウン中央駅下車徒歩 10 分）
- ⑥ 1月 28 日～2月 2 日、松戸駅東口プラーレ 6 階で、千葉県の N P O 活動紹介写真展があります。団いやま森の会も出展しています。

団いやま森の会 2009年の活動計画(案) 1.22ミーティングを元に作成 野口功

A 旧入口周辺(野菜屑置場・ロープ) ロープの張りなおし	1~3月 A ロープの張りなおし B 入口広場の整備 D スギの伐倒 C 倉庫の整備
B 入口広場(広場の真ん中に木) エゴノキ、ハリエンジュの伐採 道路際の壅みの整地or丸太敷き	
C 倉庫前広場周辺 増設倉庫の床張り	4~6月 D スギの伐倒つづき E 西側道路際の植栽 G 除草
D 通路の内側(溝腐病スギ、シラカシ幼木、アオキ) 明るい森に 溝腐病のスギの伐採 シラカシ幼木の抜き切り クヌギ・コナラなどの植樹(苗木は高木さんから)	総会(4月21日?) 緑のフェスティバル参加(4.29) 恒例の清掃(6月)
E 西側道路沿い(刈り払われている) ツバキなどの植栽(苗木は三吉の森から)	7~9月
F 南広場周辺 草地との間はみだりに入らないよう、周囲に通路整備 縄張り区域は縮小	森の楽校(夏休み始め) バス観察会
G 草地	10~12月
H 南西の森(コナラ・エゴノキ・ラン)	森の音乐会(10月末) 年末清掃(12月)
I 南東の森(コナラ・エノキ・アズマネザサ)	1~3月
J 北東の森(スギ・アオキ・タヌキ)	
イベント・講習など 音乐会 森の楽校 森の産物(ドングリ・ツル等)工作 常盤平商店街との連携(石川さんと相談) 三樹の会との連携、竹炭焼き体験など	その他 保険料(600円)は、会費とは別に徴収 炭火の使用など検討 作業後、弁当を食べながら意見交換 昼食時にはお茶を沸かす用意

里いやま森の会 活動記録

2009.2.7 野口 功

日 時： 2009.2.7(土) 9時30分～13時 天気：快晴
気温 5.3°C(9:40)、10.4°C(12:10) 照度
(いずれも倉庫前広場のテーブル上)

活動参加者	池田、牛尾、高鳥、野口、野口Y、増田、三嶋、山口、山田	9名
会員外	岡部、高木	2名

前日の強風もおさまり、雲ひとつない暖かい日和でした。イベント広場の草地は、ポカポカする陽だまりで、オオイヌノフグリがかわいい花を咲かせていました。シイタケもまだ小さいですが、たくさん顔をのぞかせています。暖かくなれば、ぐんぐん大きくなるでしょう。楽しみです。イヌシデのホダ木ばかりから出てくるのは、コナラより皮が薄いからでしょうか。

活動内容

入口広場の真ん中に生えている木を除伐。大きなハリエンジュの伐倒は次回とし、その障害になるエノキ1本とエゴノキ一本を伐採し、片付けました。

高木さんの指導をうけ、切りやすい高さで手鋸で伐採し、チェーンソーで地際まで切りました。

① エノキ 樹高 10.1m、胸高径 15cm、樹齢 30 年位。

ロープで牽引。受口が少しづれたので、それにあわせてロープの方向を掛け直し、ほぼその方向に倒れた。

② エゴノキ 樹高 11.9m、胸高径 24cm、樹齢 36 年位。地面に近い部分は空洞。

梯子をかけて、地上 6.1m の所で幹上部と太枝を切り落とした後、他の枝も切って、幹だけの状態にしてから、伐倒。ロープで牽引。

連絡・報告事項

① 次回の活動： 2月 17 日（火） 入口広場のハリエンジュを伐倒する予定。

次々回：3月 7 日（土） シイタケが成功したので、今度はナメコの菌の駒打ちをしましょう。

（2月 25 日、一起の会からほだ木をいただく予定です。10時、八ヶ崎の森。

近隣との関係で大規模に伐採されてしまった惨状も、ぜひご覧下さい）

② 八幡腰の森（作業活動）： 2月 18 日（水）10時～。

八幡腰の森の地主さんとの協定が、千葉県の里山条例に基づいて認定されました。2月 25 日に認定式が行なわれます。わずかですが、県の補助金も下りる予定。

③ 2月 2 日、里やま応援団グループの第二回意見交換会が行なわれました。

「里山整備団体としての情報交換・連絡協議・協力支援を円滑に進めるための会議とし、意思決定の場とはしない」「当面里やま応援団グループの会議とするが、他の関連団体にも門戸を開放する」などを確認しました。次回は、3月 2 日（月）15時、テント小屋。

④ 関さんの森を分断する都市計画道路について、2月 5 日、市長と関さんとの間で、迂回道路とする基本合意が調印され、強制収用の手続きは中断されました。8月をめどに、具体的に詰めていくことになりました。

2月 28 日（土）13:30 「関さんの森 スライド&トーク」で、経過報告があります。

場所 流通経済大学・新松戸キャンパス 大教室

⑤ 5期の「里やまV・千駄堀」に花王の「みんなの森づくり助成」が内定しました。

2期、4期に続いて、松戸で3件目。これまでの活動が評価されていると思われます。



作業前



エノキを伐倒



作業後



エゴノキの枝払い



エゴノキを幹だけにして伐倒作業



囲いやま森の会 活動記録

2009.2.20 野口 功

日 時： 2009.2.17(火) 9時30分～13時 天気： 晴

気温 6.1°C(11:35)、 照度 (いずれも倉庫前広場のテーブル上)

活動参加者 青山、新井、池田、西澤、野口、山口、山田 7名

会員外 岡部、須藤、高木、ひろ君（高木さんの孫） 3+1名

暑いくらいだった前日の陽気から一転、冷たい風が木々を揺らしていました。強風のため、予定していたハリエンジュの伐採は中止。観察と軽作業にとどめました。でも、せっかく集まった面々は、それだけでは收まらず、以前から気にかかっていた、架かり木を処理しました。

前回、つぶつぶのように顔を出していたシイタケは、10日の間に大きくなり、15本収穫できました。まだ小さいのがたくさん出ています。

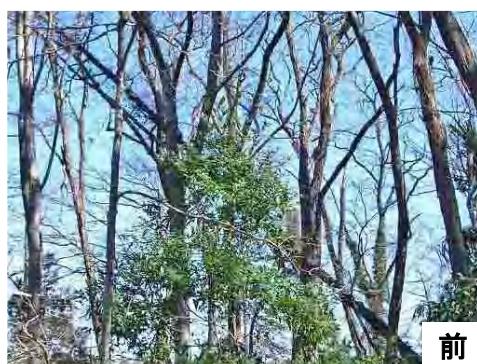
作業後は、倉庫前の広場でお湯をわかし、暖かいお茶を飲みながら、懇談しました。

活動内容

- ① 倉庫横に伸びていた枯れ枝を除去。
- ② 南広場と草地の間刈り払い区域にみだりに踏み込まないよう、シイタケ栽培場所に向けて通路をつけました。次回に予定しているナメコのホダ木置き場も整理。
- ③ 旧入口周辺に張ってあったロープが腐って切れているので、新しく張り直しました。
- ④ 入口近くで、当初から斜めに倒れて架かり木になっていたスギの枯れ木を取り除きました。
根本近くは、叩いただけで、折れていた所から離れて落下。先端の枝分かれした部分が他の木の又に挟まっていたので、チルホールで牽引して外しました。

連絡・報告事項

- ① 次回の活動： 3月7日(土) ナメコの菌の駒打ちを予定。
(25日に、「一起の会」の八ヶ崎の森からホダ木をいただき、運びます)
- ② ハ幡腰の森（作業活動）： 3月2日（月）10時～。
- ③ 里やま応援団グループの第3回意見交換会：3月2日（月）15時、テント小屋。
- ④ 「関さんの森 スライド&トーク」：2月28日（土）13:30 道路問題経過報告など。
場所 流通経済大学・新松戸キャンパス 大教室



前 スギの枯木を除去 後



ウゲイスカグラ



枯枝除去



シイタケ栽培



シジュウカラが楽しみ



囲いやま森の会 活動記録

2009.3.9 野口 功

日 時： 2009.3.7(土) 9時30分～13時 天気： 晴

気温 11°C(9:45)、16°C(11:30)、 照度 (いずれも倉庫前広場のテーブル上)

活動参加者 池田、小嶋、高鳥、土田、野口、野口Y、馬場、増田、山口、 9名
会員外 高木 1名

早くも「菜種梅雨」とか、数日、ぐずついていましたが、一日だけの晴れ間。森の外はかなり強い風が吹いていましたが、早春の暖かな日和でした。草地は、オオイヌノフグリが一面に咲き、歩くのを遠慮したくなるような花の絨毯です。2年やった除草の成果で、カナムグラは少ないようです。

活動内容 ナメコの駒菌の植え込み

- ① 八ヶ崎の森からコナラのホダ木を運搬 (3月10日、3人)
- ② 南広場で、ホダ木にドリルで穴あけ (約25本)
- ③ ナメコの駒菌を800個植え付け。
- ④ 雑木林の中に積んで散水し、ゴザをかけて保温・保湿 (仮伏せ)
今後、6月頃、本伏せにします。秋までには天地返しも。
本格的な発生は2夏を越した秋から。うまくいけば数年収穫できるはずです。

連絡・報告事項

次回の活動：3月17日（火）駐車場のハリエンジュの伐採など

次々回：4月4日（土）「君津の森 花逍遙の会」に参加(千葉県森林インストラクター会主催)
房総の里山のヤマザクラと英国王立協会記念庭園を訪ねる

午前7時20分、松戸駅西口市民劇場前集合 (バス乗車) 参加費5,000円

参加希望者は、増田・山口さんに事前申し込み（先着順）野口への連絡でも結構です

八幡腰の森作業： 3月18日（水）

野外活動リスクマネージメント研修会： 3月19日（木）9～15時 （申し込み先：三嶋）

9～12時 松戸市小金消防署3F会議室（応急手当等の実習）

14～15時 幸谷公民館（自然観察における危険予知）



団いやま森の会 活動記録

2009.3.21 野口 功

日 時： 2009.3.17(火) 9時30分～13時 天気： 晴

気温 照度 (いずれも倉庫前広場のテーブル上)

活動参加者 新井、池田、高鳥、西澤、野口、三嶋、山口、山田 8名
会員外 ①岡部・高木・深野、③須藤・早川、④野坂、⑥原 7名

暖かく穏やかな日でしたが、先日来の強風で、枯れ枝がたくさん落ちていました。かなり太いものもあり、改めて潜在的な危険性を強く感じました。数日の雨と気温の上昇で、シイタケがいっせいに大きくなり、これまでで最高の収穫でした。今日は、大木の伐採ということで、里やま応援団各期の方々が、応援・見学・体験に参加してくれました。

活動内容： 入口広場の真ん中のハリエンジュなど伐採

1、高木さんから、斜めの木の伐採について説明

斜めの木は、重心が根元から大きくずれており、勢いよく倒れるので、それを抑える工夫をする。

- ① 受け口の方向は、重心方向からややずらす(倒れる勢いを抑えるため)。
- ② 受け口、追い口は、水平ではなく、幹に対して直角に切る
- ③ 受け口の斜め切りは、通常より角度を大きくする。
- ④ 受け口の深さは、通常より浅く、幹径の4分の1程度とする(ツルを強くするため)

2、エゴノキの伐採

まず、ハリエンジュに接近しているエゴノキを伐採。

径 17 cm、樹齢 40 年

もう 1 本のエゴノキは残すことにしました。

3、ハリエンジュの伐採

- ① まず、太い枝を 1 本切り落とし、樹体を軽くする
- ② 受け口は手鋸で切ったが、33cm の鋸では木の太さの割に短かくて、大変だった。
- ③ 受け口ができたところで雨がぱらつきだったので、追い口はチェーンソーを使用。
- ④ チルホールを設置したが、斜め木のため、チルホールで引かない内に自重で倒れた。

樹高 23m (事前の測定どおり)、径 45cm、樹齢 50 年

連絡・報告事項

次回： 4月 4 日 (土) 「君津の森 花逍遙の会」に参加 (千葉県森林インストラクター会主催)

房総の里山のヤマザクラと英國王立協会記念庭園を訪ねる

午前 7 時 20 分、松戸駅西口市民劇場前集合 (バス乗車) 参加費 5,000 円

参加希望者は、増田・山口さんに事前申し込み (先着順) 野口への連絡でも結構です

次々回： 4月 21 日 (火) 総会

午後 3 時まで作業 (開始時間：10 時とします)

15:00～17:00 2009 年度総会 (金ヶ作会館)

17:00～ 懇親会 (常盤平 or 八柱周辺。場所・会費は追って連絡)

八幡腰の森作業： 4月 6 日 (月)

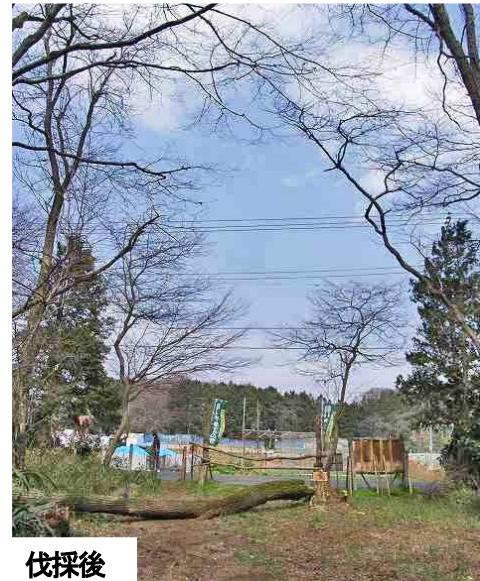
3月 18 日の作業で、参道に張り出していた大きな枯れ枝の切除が終了しました。あと数回で、残りの枯枝処理、再度の下刈り、伐採草木の整理などをすれば、一段落という状況です。



伐採前



伐採前(奥から)



伐採後



伐採後



伐採中 倒れて～



エゴノキの伐採検討中



ハリエンジュの受け口



ハリエンジュ 樹高 23m 直径 45 cm 樹齢 50年



先週の大風で通路に枯枝が散乱 危険！